

# 青森県経済統計報告

平成 26 年 2 月 4 日  
企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口（平成 26 年 1 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,333,729 人（対前月 1,074 人減少）
自然動態	756 人減少（出生者数 738 人、死亡者数 1,494 人）
社会動態	318 人減少（転入者数 919 人、転出者数 1,237 人）

## 2 本県の経済動向（平成 25 年 11 月・12 月の経済指標を中心として）

### （1）経済概況

**本県経済は、生産面は横ばい傾向にあるほか、消費面に緩やかな持ち直しの動きが続いている。**

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 25 年 11 月の青森県鉱工業生産指数(平成 22 年=100)は、季節調整 … 2  
済指数が 104.2 で、前月比 1.5%の上昇となり、2 カ月連続で前月を上  
回った。また、原指数は 111.0 で、前年同月比 1.0%の上昇となり、2  
カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成 25 年 11 月の定期給与は 221,427 円で前年同月比 0.6%増となった。 … 3  
総実労働時間は 160.2 時間で前年同月比 0.6%増、所定外労働時間は 9.7  
時間で前年同月比 3.2%増となった。  
平成 25 年 12 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.76 倍で、前月を 0.01  
ポイント上回った。
- (2-3) 物 価 平成 25 年 12 月の青森市消費者物価指数（平成 22 年=100）は、総合指数 … 4  
が 100.8 となり、前月比 0.4%の上昇、前年同月比 2.1%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 ・平成 25 年 11 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 144 億 2,700 万 … 5  
円で前年同月比 0.1%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。また、  
既存店ベースでは 1.5%減となり、5 カ月連続で前年同月を下回った。  
・平成 25 年 12 月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比 3.9%増  
となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 8.1%  
増となり、6 カ月連続で前年同月を上回った。  
・平成 25 年 12 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 3,576  
台で、前年同月比 48.8%増となり、4 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-5) 住宅建設 平成 25 年 12 月の新設住宅着工戸数は 562 戸で、前年同月比 21.9%増と … 6  
なり、10 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-6) 電 力 平成 25 年 12 月の大口電力使用量は 2 億 5339 万 kWh で、前年同月比 3.6% … 6  
使用量 増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。

### （3）景気動向指数 C I（平成 25 年 11 月分）…………… 7

先行指数	123.5（前月を 8.3 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した）
一致指数	129.9（前月を 5.1 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した）
遅行指数	107.5（前月を 4.5 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した）

### （4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 26 年 1 月期）…………… 8

- 3 カ月前と比べた景気の現状判断 D I ……54.8(前期比 3.3 ポイント増、4 期連続で 50 を上回る)
- 3 カ月後の景気の先行き判断 D I ……46.7(前期比 7.8 ポイント減、5 期ぶりに 50 を下回る)

# 1 青森県の推計人口（平成26年1月1日現在）

## 【概況】

平成26年1月1日現在の本県推計人口は、1,333,729人で、前月に比べ1,074人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が738人、死亡者数が1,494人で、756人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が919人、転出者数が1,237人で、318人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
24.10.1	1,349,969	634,196	715,773	-0.041%	-554	-445	736	1,181	-109	1,382	1,491
25.1.1	1,347,650	633,189	714,461	-0.072%	-966	-807	742	1,549	-159	959	1,118
25.2.1	1,346,535	632,638	713,897	-0.083%	-1,115	-994	816	1,810	-121	1,010	1,131
25.3.1	1,345,439	632,089	713,350	-0.081%	-1,096	-822	655	1,477	-274	992	1,266
25.4.1	1,338,972	628,700	710,272	-0.481%	-6,467	-797	704	1,501	-5,670	3,440	9,110
25.5.1	1,339,044	628,822	710,222	0.005%	72	-690	768	1,458	762	4,085	3,323
25.6.1	1,338,181	628,322	709,859	-0.064%	-863	-634	794	1,428	-229	1,330	1,559
25.7.1	1,337,580	628,017	709,563	-0.045%	-601	-546	683	1,229	-55	1,218	1,273
25.8.1	1,337,098	627,880	709,218	-0.036%	-482	-488	813	1,301	6	1,760	1,754
25.9.1	1,336,664	627,695	708,969	-0.032%	-434	-508	781	1,289	74	1,854	1,780
25.10.1	1,336,206	627,579	708,627	-0.034%	-458	-523	750	1,273	65	1,563	1,498
25.11.1	1,335,656	627,359	708,297	-0.041%	-550	-526	889	1,415	-24	1,527	1,551
25.12.1	1,334,803	626,931	707,872	-0.064%	-853	-713	732	1,445	-140	1,066	1,206
26.1.1	1,333,729	626,454	707,275	-0.080%	-1,074	-756	738	1,494	-318	919	1,237

12月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平15.12	16.12	17.12	18.12	19.12	20.12	21.12	22.12	23.12	24.12	25.12
自然動態	出生者数	896	879	790	786	769	813	781	742	732	742	738
	死亡者数	1,144	1,222	1,208	1,289	1,303	1,349	1,318	1,317	1,458	1,549	1,494
	自然増減数	-248	-343	-418	-503	-534	-536	-537	-575	-726	-807	-756
社会動態	県外からの転入者数	1,364	1,275	1,184	1,212	1,162	1,265	1,163	1,151	1,035	959	919
	県外への転出者数	1,531	1,419	1,484	1,349	1,412	1,423	1,192	1,163	1,091	1,118	1,237
	社会増減数	-167	-144	-300	-137	-250	-158	-29	-12	-56	-159	-318
増減数計		-415	-487	-718	-640	-784	-694	-566	-587	-782	-966	-1,074

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

## 2 本県の経済動向

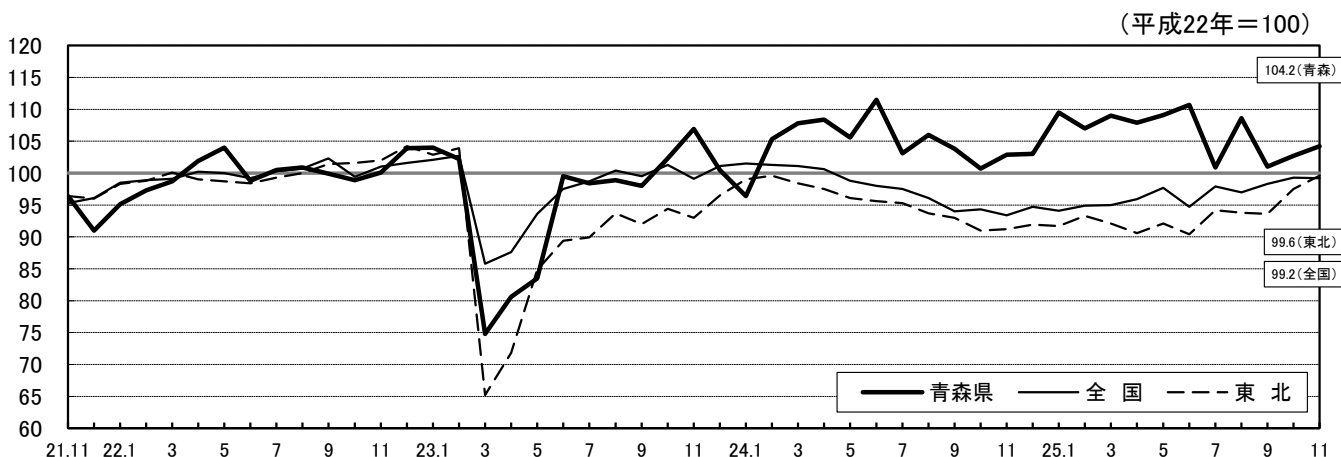
### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

平成25年11月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が104.2で、前月比1.5%の上昇となり、2カ月連続で前月を上回った。また、原指数は111.0で、前年同月比1.0%の上昇となり、2カ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、電気機械工業、鉄鋼業などが上昇に寄与した一方、業務用機械工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが低下し、鉱工業全体では1.5%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移 (季節調整済指数)

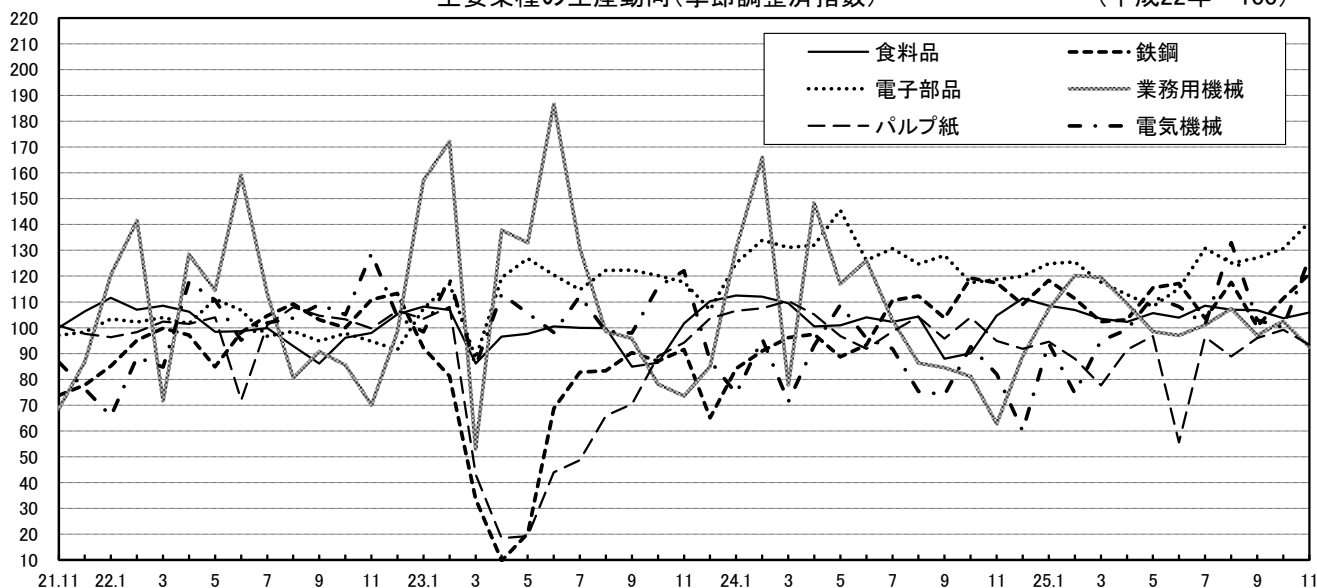


◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 1.5%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	159.8	30.2	業務用機械工業	-9.7	-18.0
電気機械工業	26.8	20.8	金属製品工業	-10.3	-8.4
鉄鋼業	8.5	20.6	パルプ・紙・紙加工品工業	-5.8	-7.6
電子部品・デバイス工業	7.9	19.5	輸送機械工業	-43.9	-4.2
生産用機械工業	76.7	10.9	窯業・土石製品工業	-1.4	-1.2

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成22年=100)



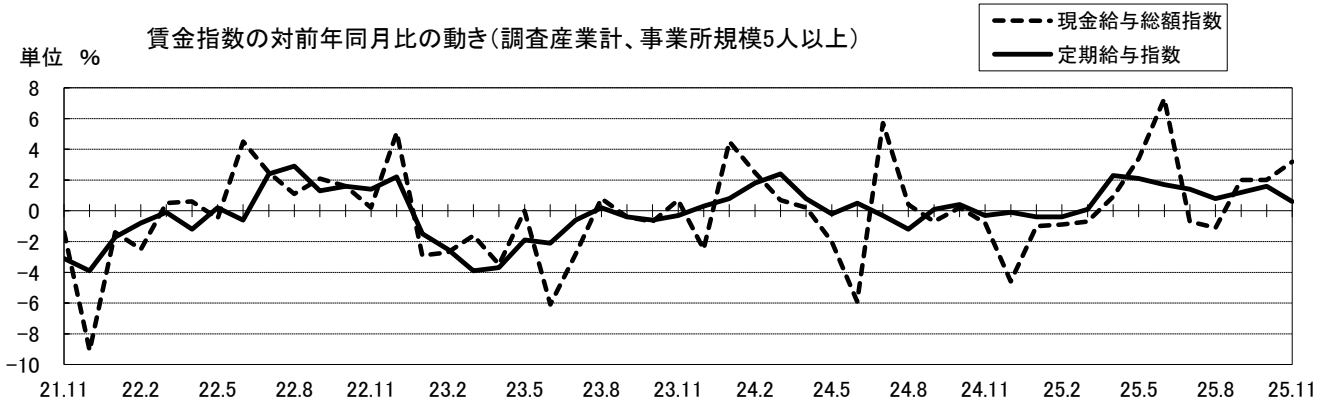
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## (2-2) 雇用情勢

平成25年11月の定期給与は221,427円で定期給与指数(平成22年=100)では100.6となり、前年同月比0.6%増(現金給与総額231,091円、現金給与総額指数89.6、前年同月比3.2%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は84.7となった。

総実労働時間は160.2時間で、総実労働時間指数は103.6となり、前年同月比0.6%増となった。このうち、所定外労働時間は9.7時間で、所定外労働時間指数は106.6となり、前年同月比3.2%増となった。

平成25年12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月を0.01ポイント上回った。



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

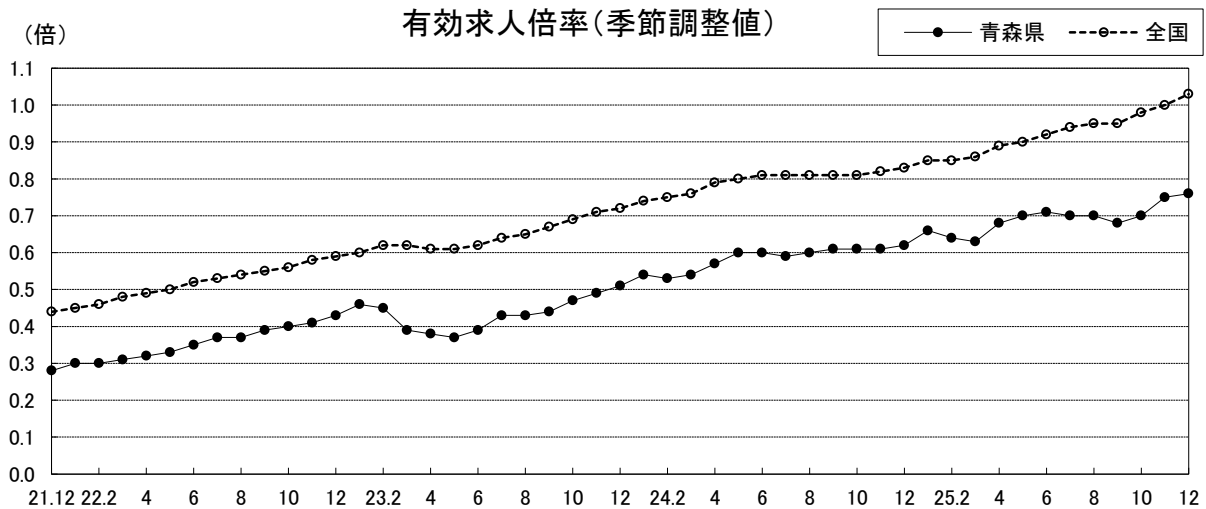
	実 数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全 国	県	全 国	県	全 国
現金給与総額	231,091 円	276,699 円	89.6	87.4	3.2 %	0.6 %
定期給与	221,427 円	261,358 円	100.6	99.4	0.6 %	-0.1 %
特別給与	9,664 円	15,341 円	—	—	—	12.0 %
総実労働時間	160.2 時間	149.8 時間	103.6	102.2	0.6 %	-1.1 %
所定内労働時間	150.5 時間	138.6 時間	103.4	101.6	0.4 %	-1.6 %
所定外労働時間	9.7 時間	11.2 時間	106.6	109.8	3.2 %	6.7 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

## (2-3) 物価

平成25年12月の青森市消費者物価指数(平成22年=100)は、総合指数が100.8となり、前月と比べ0.4%の上昇、前年同月と比べ2.1%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.6となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ1.8%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.2となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.7%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.4%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、被服及び履物などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ2.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

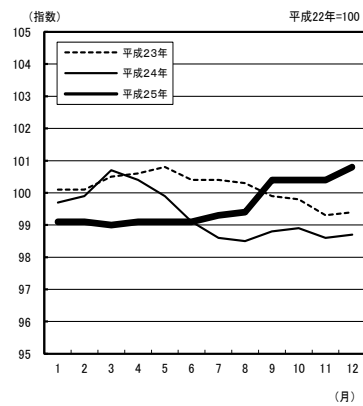


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

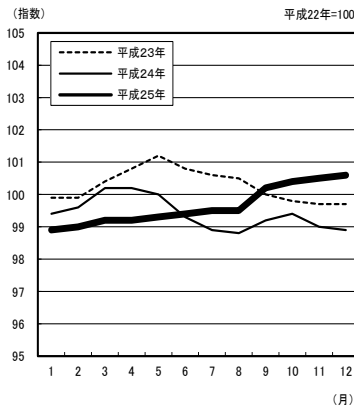
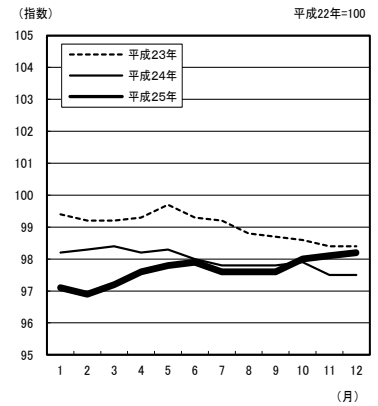


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



### 10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	100.8	100.6	101.3	98.2	98.7	103.5	98.4	117.5	89.9	104.5	97.2	103.8	96.8	92.3	106.4	
前月比(%)	0.4	0.1	0.4	0.1	1.1	5.6	0.0	0.2	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.1	▲0.2	
寄与度	—	0.12	0.36	0.04	0.28	0.24	0.01	0.03	0.01	0.04	0.00	0.00	0.00	0.01	▲0.01	
前年同月比(%)	2.1	1.8	2.5	0.7	1.9	10.3	0.5	9.1	▲1.3	3.5	▲0.8	2.2	0.1	1.0	2.4	
寄与度	—	1.71	2.14	0.47	0.48	0.43	0.09	0.97	▲0.04	0.13	▲0.04	0.29	0.00	0.10	0.15	

資料：県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

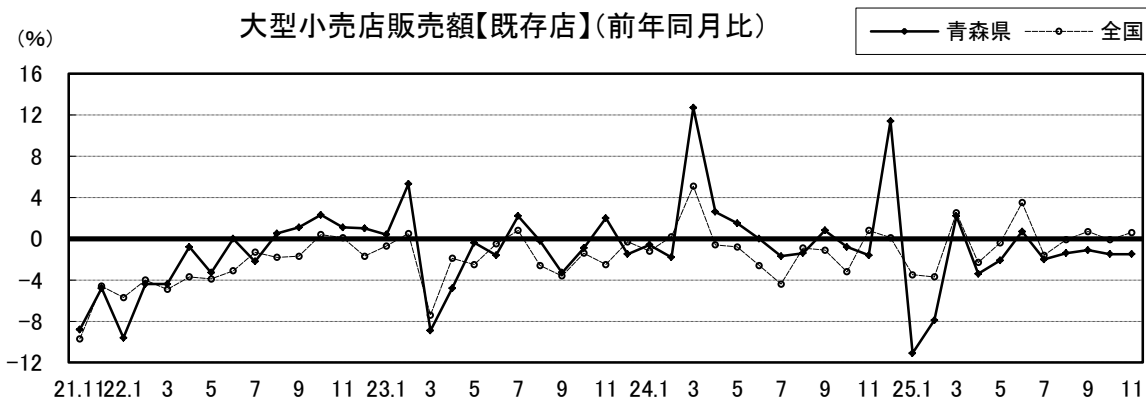
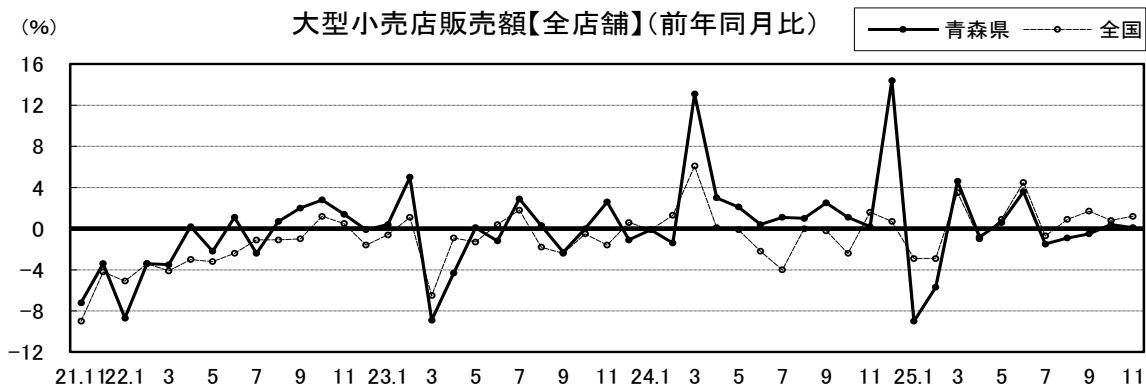
本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

## (2-4) 個人消費

平成25年11月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが144億2,700万円で前年同月比0.1%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは1.5%減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。

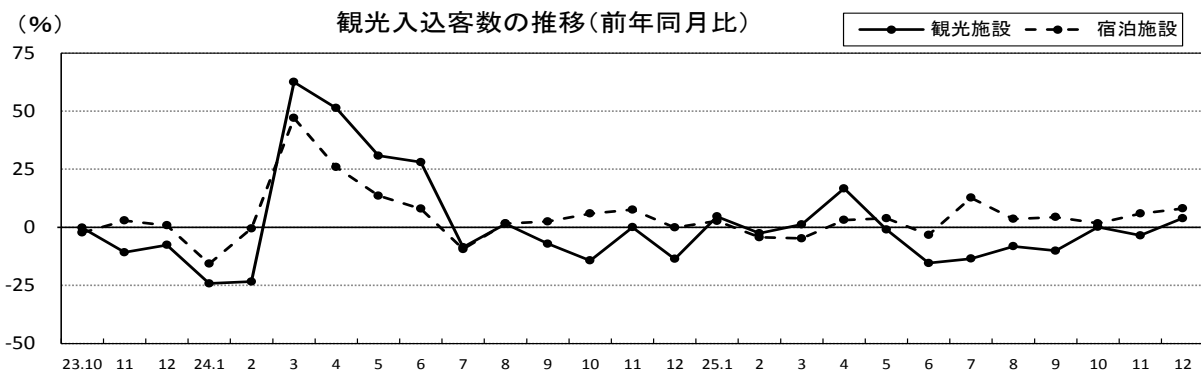
平成25年12月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比3.9%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は8.1%増となり、6カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、八戸市などの施設で増加し、宿泊施設は青森市、弘前市、八戸市、むつ市で増加したことによる。

平成25年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,576台で、前年同月比48.8%増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。普通車、小型車、軽自動車がいずれも増加したことによる。



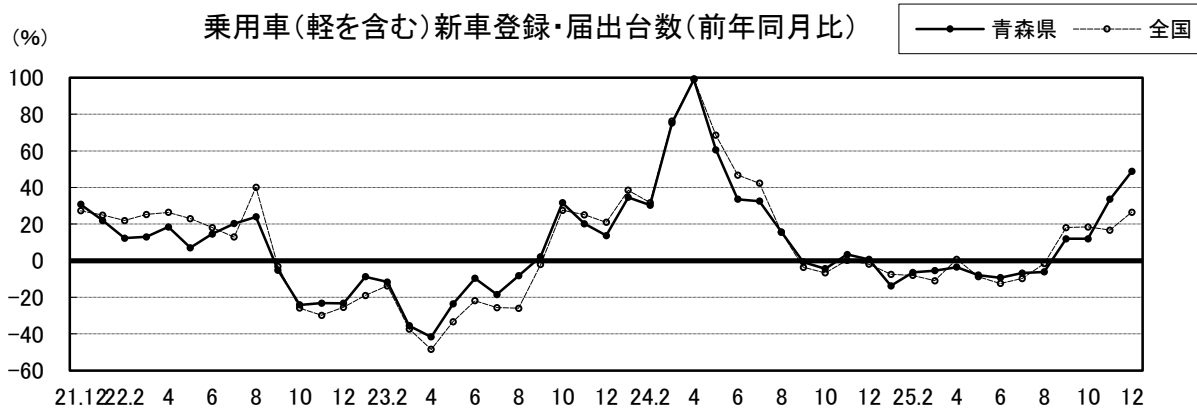
資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：県観光企画課「月例観光統計」

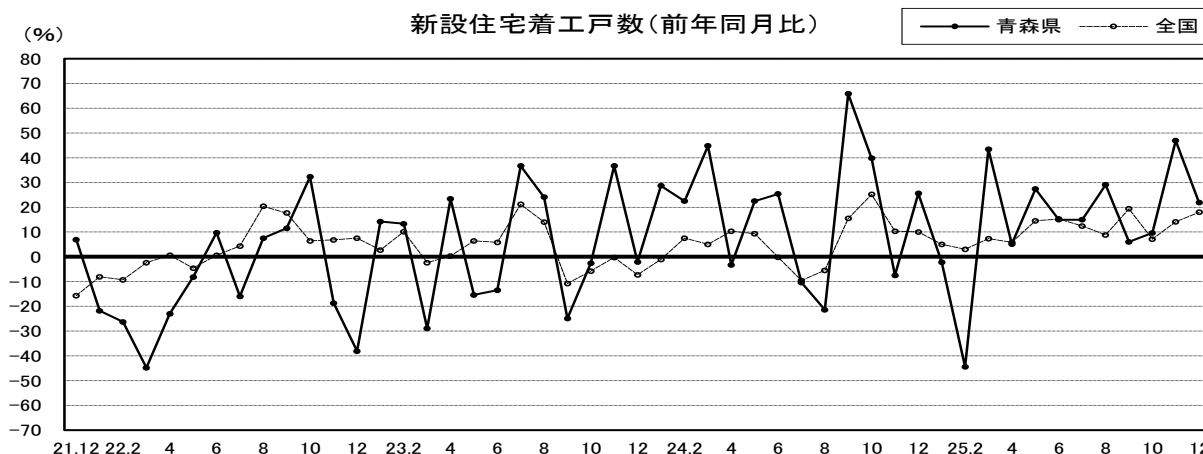
※観光施設36施設(H23年は34施設対比)、宿泊施設60施設(H23年は56施設、H24年1~3月及びH25年12月は57施設対比、H24年10~11月及びH25年4~11月は61施設対比、H24年12月~H25年3月は58施設対比)



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

### (2-5) 住宅建設

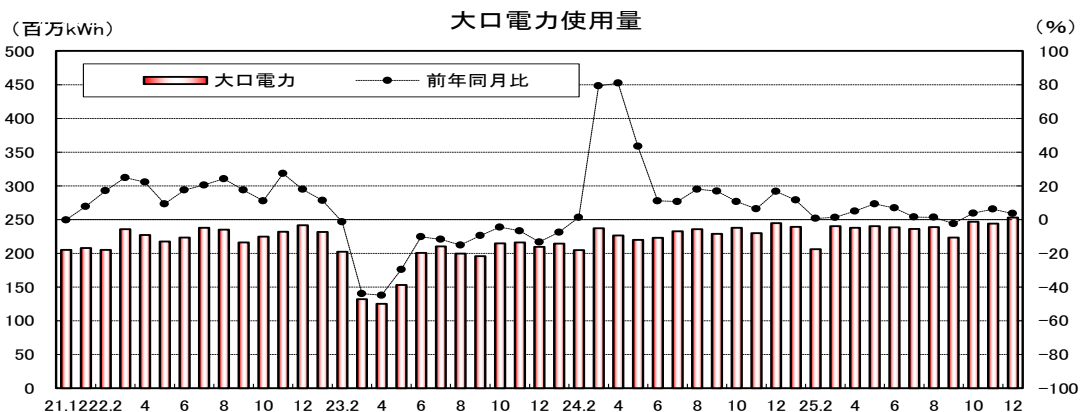
平成25年12月の新設住宅着工戸数は562戸で、前年同月比21.9%増となり10カ月連続で前年同月を上回った。持家、貸家等が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

### (2-6) 電力使用量

平成25年12月の大口電力使用量は2億5339万kWhで、前年同月比3.6%増（一昨年同月比20.9%増）となり、3カ月連続で前年同月を上回った。鉱業、製造業が増加したことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

### (3) 青森県景気動向指数

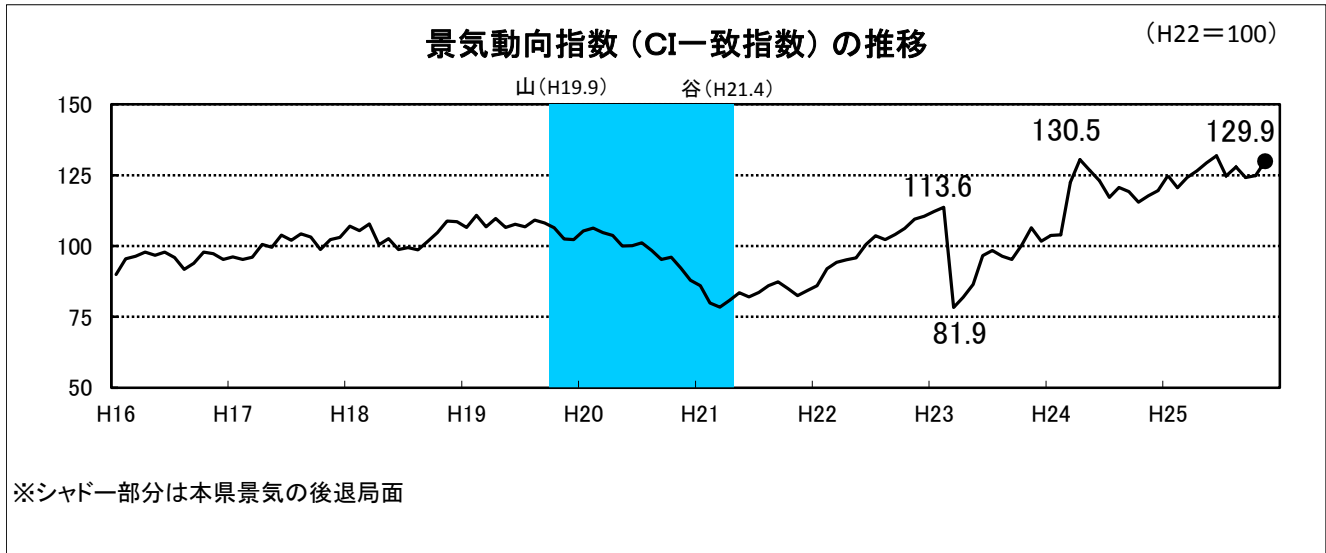
平成25年11月の青森県景気動向指数(CI)は、先行指数 123.5、一致指数 129.9、遅行指数 107.5 となった。

先行指数は、前月を 8.3 ポイント上回り、3カ月連続で上昇した。

一致指数は、前月を 5.1 ポイント上回り、2カ月連続で上昇した。

遅行指数は、前月を 4.5 ポイント上回り、3カ月連続で上昇した。

11月の一致指数は、生産・雇用関連等の指標がプラスになったことから、上昇した。



#### ●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています)

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
<b>先行系列</b>					
中小企業景況DI	6.03	4カ月ぶり	新規求人倍率(全数)	-5.72	3カ月ぶり
乗用車新車登録届出台数	5.48	2カ月ぶり	企業倒産件数	-3.19	3カ月連続
建築着工床面積	3.73	2カ月連続	生産財生産指数	-0.26	3カ月ぶり
新設住宅着工床面積	1.38	2カ月連続			
所定外労働時間指数(全産業)	0.57	4カ月連続			
<b>一致系列</b>					
有効求人倍率(全数)	3.55	2カ月連続	大型小売店販売額(既存店)	-0.07	2カ月連続
大口電力使用量	0.67	2カ月連続	輸入通関実績(八戸港)	-0.04	2カ月連続
鉱工業生産指数	0.59	2カ月連続			
東北自動車道IC利用台数	0.29	2カ月ぶり			
<b>遅行系列</b>					
りんご消費地市場価格	3.21	2カ月ぶり	公共工事請負金額	-2.72	3カ月ぶり
常用雇用指数(全産業)	1.84	3カ月連続			
現金給与総額(全産業)	1.30	2カ月ぶり			
青森市消費者物価指数(総合)	0.68	2カ月ぶり			

#### 資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

※11月分の指数は、未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めています。

(参考) 青森県景気動向指数 (DI)		
先行指数	75.0%	(2カ月連続で50%を上回った)
一致指数	33.3%	(3カ月ぶりに50%を下回った)
遅行指数	41.7%	(9カ月ぶりに50%を下回った)



#### (4) 青森県景気ウォッチャー調査 (平成26年1月期)

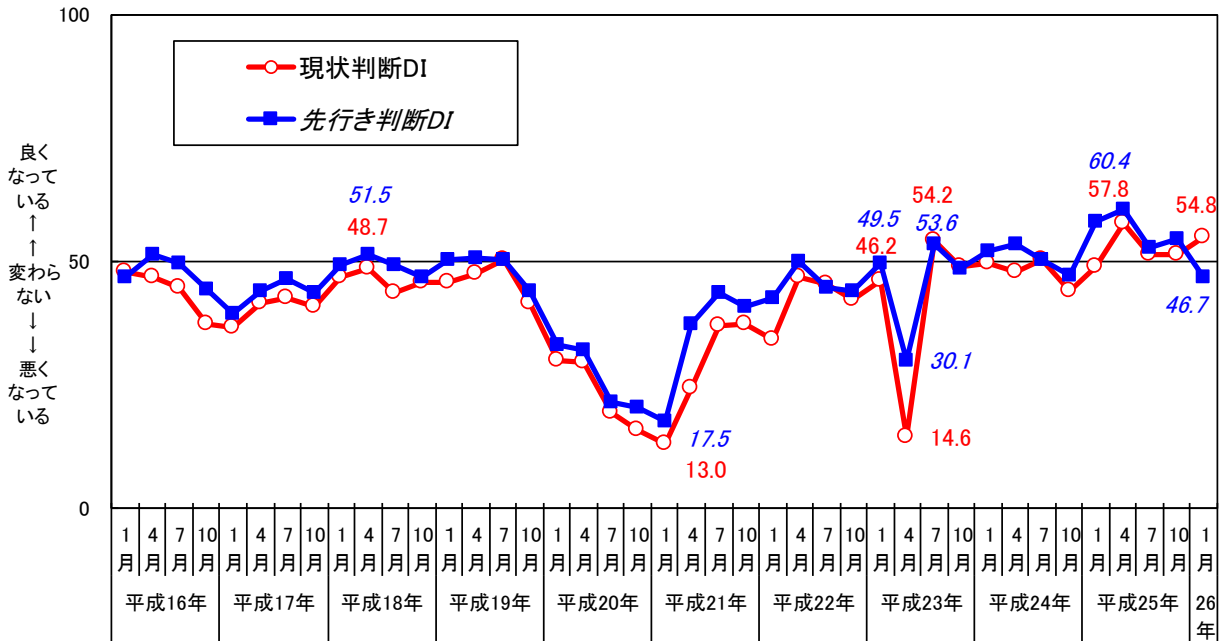
3カ月前と比べた景気の現状判断DIは、前期調査と比べて3.3ポイント増加の54.8となり、景気の横ばいを示す50を4期連続で上回った。

3カ月後の景気の先行き判断DIは、前期調査と比べて7.8ポイント減少の46.7となり、景気の横ばいを示す50を5期ぶりに下回った。

現状判断DIの54.8は、平成13年10月期からの調査の本格開始以降、過去最高だった平成25年4月期の57.8に次ぐ高さであり、初めて4期連続で50を上回った。

(調査期間 平成26年1月6日～1月14日 回答率 99%)

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



#### ● 3カ月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント減少、「やや良くなっている」が8.3ポイント増加、「変わらない」が0.5ポイント減少、「やや悪くなっている」が6.9ポイント減少、「悪くなっている」が横ばいであったことにより、全体では3.3ポイント増加の54.8となり、景気の横ばいを示す50を4期連続で上回った。</p>
向	<p>判断理由では、燃料や原材料費などの値上げによる収益悪化や、景気回復の動きを地方では実感できないといったマイナス面をあげる声があった一方で、年末年始での客数増加や売上単価の上昇のほか、乗用車販売や家電量販店などで消費税増税前の駆け込み需要による売上増加をあげる声があった。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、下北地区以外の全地区で増加し、2期連続で50を上回った。下北地区では減少し、2期ぶりに50を下回った。</p>

#### ● 3カ月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「良くなる」が横ばい、「やや良くなる」が9.7ポイント減少、「変わらない」が11.7ポイント減少、「やや悪くなる」が21.3ポイント増加、「悪くなる」が0.1ポイント増加したことにより、全体では7.8ポイント減少の46.7と、景気の横ばいを示す50を5期ぶりに下回った。</p>
向	<p>判断理由では、プラス面、マイナス面ともに消費税増税による影響をあげる声が大半を占めた。プラス面では3月末までの駆け込み需要による売上等の増加期待、マイナス面では4月以降の反動減、買い控えを危惧する声が多くみられた。</p> <p>地区別では、前期調査と比べて、全地区で減少し、津軽地区では2期連続で、その他の地区では5期ぶりに景気の横ばいを示す50を下回った。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

### ● 3カ月前と比べた景気の現状判断理由

- ◎ 宿泊が好調。（観光型ホテル・旅館・県南）
- 消費税増税前の駆け込み需要の影響。（家電量販店・東青）
- 年末年始で帰省客の流れが多少あり、各方面の売上等が良くなっている。（タクシー・東青）
- (消費税)増税前の駆け込み需要により消費が拡大しているが、4月からの落ち込みが心配である。（乗用車販売・津軽）
- 店舗の売上が少しずつ上向していること。お歳暮の動きが良く、単価も上がったこと。（卸売業・県南）
- 仕事が忙しい。受注が伸びた。（電気機械製造・県南）
- 物価の上昇がジワジワと浸透してきており、財布のヒモがなかなか緩まない。飲食店でも低価格志向は変わらないようだ。（商店街・東青）
- 年末年始はそれなりだが、この後は全くわからない。（レストラン・東青）
- 全国ニュースで報じられているような好景気の実感が何もないから。（一般小売店・県南）
- 来店客数が変わらない。もしくは前年を割り込んでいる。（スーパー・県南）
- 悪くなってはいないが、良くなっているという実感もない。受注額も横ばい状態。（広告・デザイン・津軽）
- 今のところ期待が先行で、景気が良くなっている実感は少ない。（紙・パルプ製造・県南）
- △ サービス業では消費税増税を控えての駆け込み需要もなく、逆に住宅、自動車、家電等の高額商品の購入により、他の消費を抑えているものと思われる。（都市型ホテル・東青）
- △ 住宅の場合、9月末が契約のピーク。既に消費税8%への引き上げの影響を受け、3カ月前の勢いはなくなってきているため。（住宅建設販売・東青）
- △ 円安によるさらなる原材料の値上げ。（スナック・県南）
- × 4月の消費税増税を前に、年金受給者の方が「年金額が減っているのに灯油や電気が高いので、使える金がなくなった」と言っていた。来店客に年配の方が多いので、影響がある。（一般小売店・下北）

### ● 3カ月後の景気の先行き判断理由

- ◎ 消費税増税前の2月、3月は商品の買い置きが発生するため。（卸売業・東青）
- (消費税)増税前の駆け込み需要で3月末までは好調と想定されるため。（百貨店・東青）
- 賃金など景気上向きを感じさせる話が多くなってきており、良い循環になってくることを期待。（紙・パルプ製造・県南）
- 消費税増税前に少し投資等が進むであろうが、短期的な可能性も感じられる。（人材派遣・東青）
- 新年度に向けて期待感がありますが、経済状況が好転する雰囲気は感じられない。（設計事務所・東青）
- 景気上向きのニュースが流れているが、収入増に直接現れていない地方の現状では、小売業は厳しさが変わらないと思う。（百貨店・津軽）
- 「給料、手当等、改善される見込みがない」というお客様がほとんどです。（コンビニ・県南）
- 建設事業の発注量は変わらない。（建設・東青）
- △ 夏季・冬季のボーナスも期待どおり上がっていないようで業績はあまり良くない。春の消費税アップはその中で実施され、消費の冷え込みが心配だ。（衣料専門店・東青）
- △ 消費税UPによる販売低下。（乗用車販売・東青）
- △ 消費税増税が控えているほか、物価も上昇気味で、中央の状況はローカルには当てはまらない。生活が大変になるだけ。（一般飲食店・県南）
- △ 4月以降、半年間くらいは消費税増税による反動減が出そうだ。（経営コンサルタント・津軽）
- △ 消費税増税前の駆け込み需要と4月からの反動減がどれくらいなのか、正直、推し測れない。（新聞社求人広告・津軽）
- × 今年4月の消費税率8%への引き上げにより、消費先取りの反動で大幅に悪くなると思う。（人材派遣・津軽）

記号の意味：◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」